



2019年度委員会

大谷婦人会 すみれ

大谷婦人会
大谷幸香 副会長大谷婦人会
大谷妙子 会長大谷婦人会
月輪満子 委員長

慶讃法要に向けて～各地の聞法の輪の広がりを願う～

2019年7月23日、2019年度委員会が開催されました。会長はじめ、副会長、顧問の皆様をお迎えして、委員22名・監事2名の出席のもと、御協議いただき、各議事事項全て全会一致で可決されました事を報告致します。

委員長に就任して2年目のスタートとなりました。1年を振り返って一番残念な事は11支部という非常に多くの支部が退会してしまった事です。会員の高齢化が一番の原因という致し方ない事とはいえ、次世代へなかなか伝わらないもどかしさと、何とかせねばこのままでは存続の危うさまで感じられる思いであります。一方で、次世代へのバトンタッチとして非常に成果があがったと思われるのが“すみれ会”でした。今後も多くの次世代を担う方にご参加いただきたく、今年度は、参加助成の対象人数を2倍に増やすよう変更いたします。皆様の御

協力をお願い致します。

2023年には宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が厳修されます。そこで、大谷婦人会では、それまでの、毎年の全国大会をお待ち受け大会として、地方で開催する計画を話し合ってきました。協議の結果、本委員会において、2021年(2020年度)の全国大会を大阪で開催するという事に決定致しました。全国の会員をはじめ、多くの若い方にもご参加いただき、新たな支部が設立されることを切に念じます。慶讃法要のテーマは「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」です。大谷婦人会は今年度も引き続き、スローガン「聞法一路」、サブテーマ「とどけようナンマンダブ」をかかげて皆様と一緒に歩んでいきたいと思ひます。どうぞ今年度もよろしく願い致します。

大谷婦人会委員長 月輪 満子

大谷婦人会2019年度委員会報告

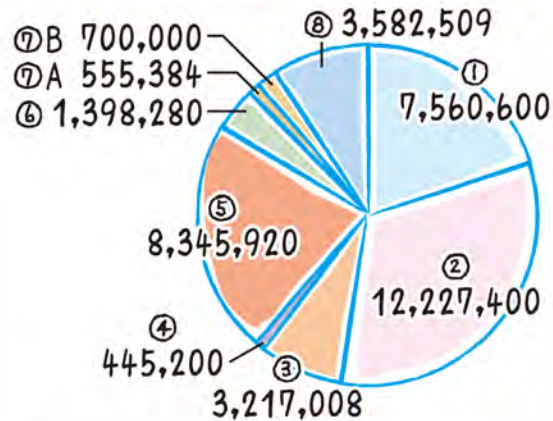
2019年7月23日(火)開催 会場:しんらん交流館 大谷ホール

全国の27名の委員のうち22名が出席し、2018年度開法研修事業報告・収支決算書および2019年度開法研修事業計画(案)・収支予算(案)・大谷婦人会業務における旅費及び宿泊補助等に関する規程の一部改正が留議され、全会一致で議決されました。

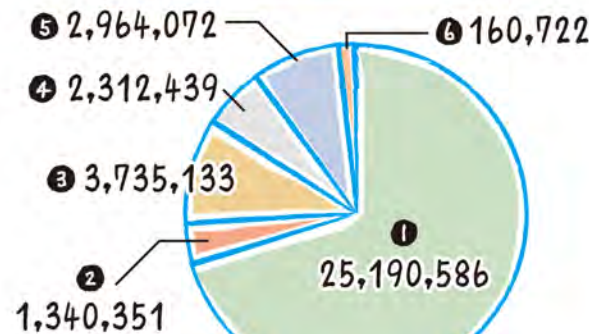
また、その他に2023年にお迎えする皇祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けた大谷婦人会の取り組みについて協議されました。

2018年度決算 自2018年7月1日～至2019年6月30日

収入総額 38,032,301円



支出総額 35,703,303円



収入

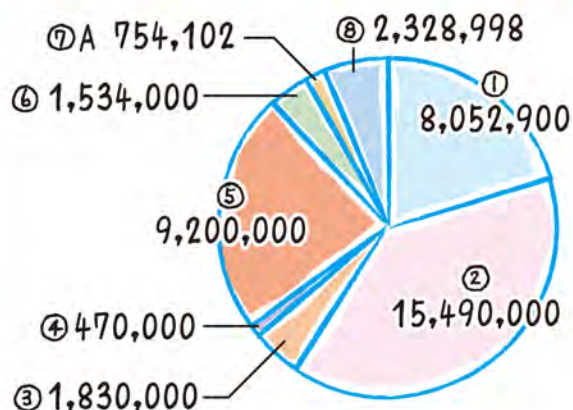
- ① 年会費: 会員一人700円
- ② 冥加金: 全国大会、地区開法会、全国支部長・役員研修会、すみれ会等の参加費
- ③ 懇志金: 有功章懇志、諸懇志、永代経懇志
- ④ 記章礼金: 会員略肩衣・念珠・バッグ、記章
- ⑤ 花すみれ購読料: 『花すみれ』の購読料
- ⑥ 教化誌購読料: 『やさしい法話シリーズ』の購読料
- ⑦ A雑収入: 発送費、預金利息、グッズ販売、『花すみれ』広告料等
- ⑧ B回付受金: 特別事業積立金会計から2018年度一般会計へ回付
- ⑨ 繰越金

支出

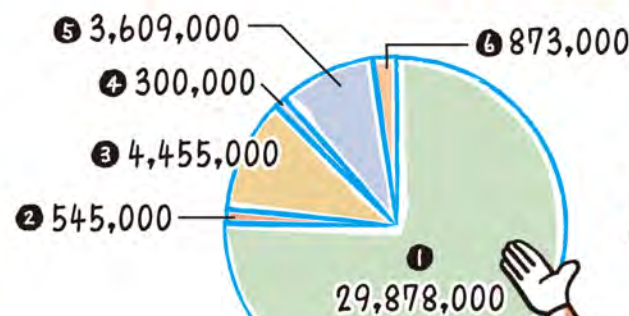
- ① 法要・教化・文書伝道費: 全国大会、地区開法会、研修会、支部巡回講師派遣、定例法話、法要・莊厳費、ブロック別支部長会、すみれ会、『花すみれ』、『やさしい法話シリーズ』、『通信すみれ』等に係る経費
- ② 奨励費: 支部の設立や活動への助成金、会員略肩衣、念珠、バックの調製等に係る経費
- ③ 会議費: 委員会、委員協議会、常任委員会等に係る経費
- ④ 人件費: 専属嘱託・アルバイトに係る経費
- ⑤ 諸費: 保険料、事務通信費、慶弔費、公租公課、業務委託、雑費等に係る経費
- ⑥ 予備費

2019年度予算 自2019年7月1日～至2020年6月30日

収入総額 39,660,000円



支出総額 39,660,000円



大谷婦人会は被災地の支援をしています。引き続き義援金のご協力をお願いいたします。
※郵便局 振替口座 真宗大谷派大谷婦人会災害義援金 口座 00950-3-209979

第72回北陸地区開法会

(前期・能登地区)2019年5月21日～23日

私が大谷婦人会に参加したのは、平成15年頃だったと思います。それまでは母が参加していましたが、高齢になり交代しました。

北陸地区開法会に最初に参加したのは、いつだったのか?写真を探してみました。集合写真は毎回撮るのであるはず!!ありました。飛騨高山での第59回北陸地区開法会で30名の参加でした。それから毎年参加しています。今回上庄谷支部は8名の参加でしたが、いつもは20名前後で中型バスで参加しています。今回は地区の老人会の旅行と重なり人数が集まらず車2台で参加しました。

講師は上庄谷支部に3回来ていただいている林松先生でした。蓮如上人御影道中御下向の随行教導として1週間240キロを、朝4時起床で歩かれたお話をされ、真黒に日焼けされたお顔を見れば大変さ一目瞭然でした。

歩かれて改めて蓮如上人の偉大さを思い知らされ、真宗を立て直された大切な上人であるとお話されました。

夜の宴会は、毎年お見掛けする方が熱唱される姿を見て、パワーをもらい、すばらしい歌声に拍手でした。上げ膳 据え膳、年に1度の温泉大浴場でゆったりまったりできるのも楽しみでありました。次の朝、朝食前に突然、感話をお願いされパニックになりましたが何を話せば良いのやら悩みながら何とか無事に感話が終わり1泊2日、聞いた事は忘れてしまおうけれど、そこに身を置く事が大切だと思いました。

ザルで水をすくうのではなく ザルを水につけたまま 開法も身体ごと入りこめ ナムアミダブツ

高岡教区 上庄谷支部 藤坂 良子

第72回北陸地区開法会

(後期・加賀地区)2019年6月18日～20日



わり切れなさを生きる我等、我が身を越えて共に生きたい願ひがある。仏様の呼びかけの中に本当に生きるとは。願われている我が身をいたでいていく。私は私でよかった、生きてきて良かったと言えるが、それこそが仏法の問うことです。共に集い、人との出会いを通して何を大事にして生きていくか、呼び合い呼びかけあう中でどんな者として一生を終えていくか確かめることが出来るのかを自分で答えを見つけていくのが仏法の座ですと、講師、大江憲成先生が話されました。

開法会を終えた翌日、私は二人の役員さんの訪問をうけました。「役員になるのがいやで仕方がなかったのですが、いいお話を聞かせてもらい、又、楽しませてもらいました。大谷婦人会ってこんなにすばらしい会とは知らなかった。役員をさせてもらって本当によかった」とお礼の言葉を頂きました。「次世代にとどけようナンマンガブ」彼女達が自ら見つけたすばらしい言葉に感動の気持ちでいっぱいでした。

小松教区 加賀辰口支部 副支部長 新谷 久美子

会場:石川県羽咋郡志賀町

「ロイヤルホテル能登」
講師:小松教区 立寄寺住職 林 松 師
講題:「無碍の道」



会場:石川県加賀市山代温泉

「ゆのくに天祥」
講師:九州大谷短期大学名誉学長 大江 憲成 師
講題:「共に浄土に往生させていただく身をたまわって」



2019年度全国支部長・ 役員研修会、秋季永代経法要

〔開催日〕2019年9月17日(火)～18日(水)

〔会 場〕真宗本廟 同朋会館・和敬堂

〔講 師〕三島 清圓 師(高山教区西念寺住職・同朋会館教導)



全国支部長・
役員研修会

お内仏報恩講

〔開催日〕2019年12月10日(火)

〔会 場〕しんらん交流館 1階 すみれの間

〔講 師〕高橋 法信 師(大阪教区光徳寺住職)



お内仏報恩講

新年初会

〔開催日〕2020年1月10日(金)

〔会 場〕しんらん交流館 1階 すみれの間

〔講 師〕本多 雅人 師(東京教区蓮光寺住職)



新年初会

有功章受章者茶会

〔開催日〕2020年1月15日(水)

〔会 場〕しんらん交流館 1階 茶室・すみれの間



有功章受章者茶会

すみれ会(第4回)

〔開催日〕2020年3月11日(水)

〔会 場〕しんらん交流館 2階 大谷ホール

〔講 師〕平原 晃宗 師(京都教区正蓮寺住職)



すみれ会

2019年度全国大会・物故会員追弔法要・ 春季永代経法要

〔開催日〕2020年4月16日(木)

〔会 場〕しんらん交流館 2階 大谷ホール

〔講 師〕木越 渉 師(金沢教区光専寺住職)



全国大会

※写真は全て昨年度開催のものです

私たちの宗旨

【宗旨】浄土真宗
【本尊】阿弥陀如来
【正依の経典】
仏説無量寿経(大経)
仏説観無量寿経(観経)
仏説阿弥陀経(小経)
【宗祖】親鸞聖人
【宗祖の著書】
顕浄土真実教行証文類
(教行信証)
【宗派名】真宗大谷派
【本山】真宗本廟(東本願寺)
【所在地】
京都市下京区烏丸通七条
上る常葉町七五四番地

編集後記

(近藤編集長)

通信すみれvol.19の続き 6月は私たちにとてももう一つ心にかけ
ていなければならない日がある。
6月24日、高木顕明さんの命日。1911年大逆事件に連座、1914年秋
田監獄で縊死した和歌山県新宮市浄泉寺第12代住職。ただただ
聖人の教えを信じ南無阿弥陀仏を信じ、平等の救済、幸福、平和、
安慰を願いながら非戦をととなえ、宗門より罷免された人。
今年もまた参拝接待所ギャラリーでパネル展が開催され、遠く浄
泉寺では「遠松忌」として勤められた。